

2025 夏号
vol.139
広報誌

躍進

やくしん

題字：前理事長 嶋田 國重



特集

- AI内視鏡導入について
- 小郡・大刀洗 胃内視鏡検診について



フォローをお願いします。



社会医療法人シマダ



Director of a Hospital



院 長

島田 幸典
こうすけ

7月になり梅雨が明け、今年の夏も猛暑が予想されております。去年は熱中症や新型コロナウイルス感染症で救急搬送される方が多くいらっしゃいました。今夏も体調には十分にお気を付けてください。何か体調の変化があればいつでも当院やかかりつけ医にご相談ください。

さて、今年度より整形外科の診療体制が一押し3ヶ月が経ちました。福岡大学医学部整形外科より常勤医として野村先生、春島先生を新たに迎え、今まで以上に幅広い患者さんの診療に携わることができるようになり、膝や肩の手術治療をする方も増えております。当院には手術後のリハビリテーションを入院や外来でも行っております。膝や肩、腰の痛みなど症状は何でも構いません。何かお困りの症状があればいつでも病院スタッフにお声かけください。

今春より新たに内視鏡センターでは、AI内視鏡を導入しました。まだ1台のみの運用ですが、患者さんにとって大きなメリットがあるものです。医師の目に加え、AI(人工知能)がもう一つの目となり、人間では見つけにくいような、ごく初期の小さな病変を発見するのにAIがサポートしてくれます。また検査時間の短縮が期待され、今まで以上に楽に検査を受けていただけるものと思っております。7月1日から今年も小郡・大刀洗内視鏡検診が始まっております。ぜひこの機会に内視鏡検査(胃カメラ)を受けていただきたいと思っております。また、大腸がんについては便潜血検査、下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)を併せておすすめしております。

4月よりシマダナーシングホームおごおりを開設しました。これは24時間看護師が常駐する有料老人ホームになります。小郡市では初めてのナーシングホームであり、今まで以上に介護度の高い方も入居できる対象となります。ぜひこちらもお相談をいつでもお受けしますので、病院スタッフまでお声掛けください。

最後に、最近テレビや新聞等の報道からは超高齢化がもたらす医療費財源の問題、医療・介護業界の人材流出、医療提供体制の問題など医療機関への風当たりは激しさを増すばかりですが、私たちはこれからも地域の方々が安心して暮らしていけるように地域医療を守っていく覚悟です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

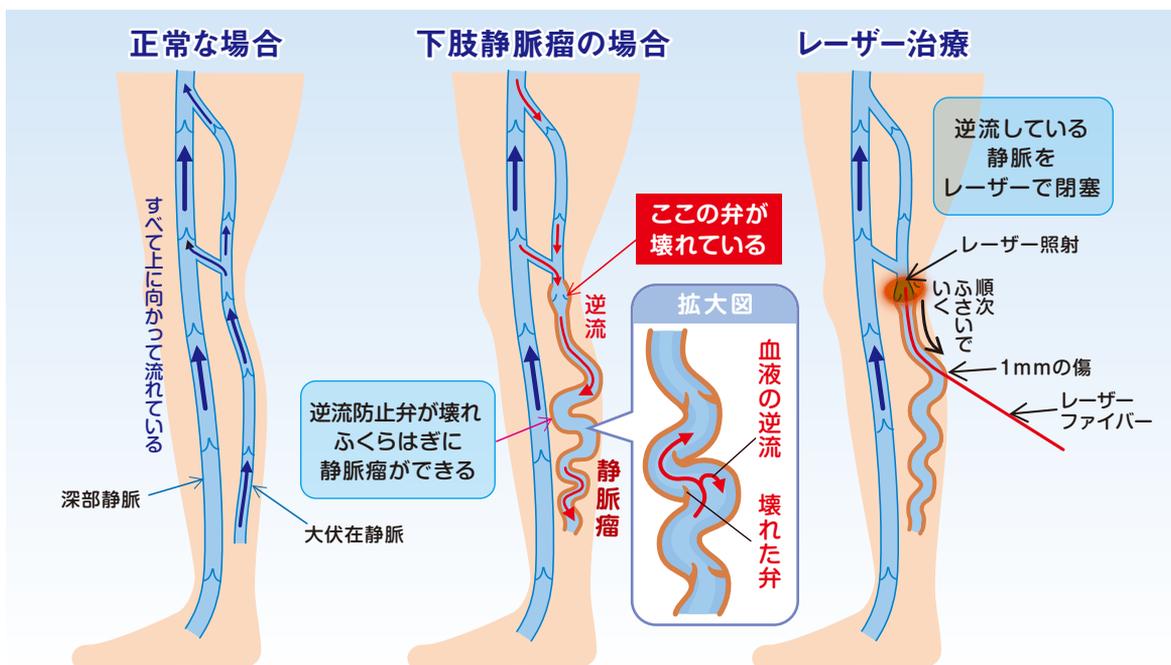
令和7年7月

身近なリスク・見逃さず知ろう

日帰り可能な手術

下肢静脈瘤 血管内焼灼術

下肢静脈瘤は、足の血管が浮き出てだるさや痛みを引き起こす病気です。血管内焼灼術は、細いカテーテルを使い、レーザーや高周波で血管の内側から閉塞させる治療法で、体への負担が少なく日帰りで行えます。「痛みはありますか?」「また再発しませんか?」といったご不安にも丁寧に説明し、納得してから治療を受けていただけます。術後の回復も早く、多くの方が翌日から普段通りの生活を送っています。安心してご相談ください。



ただし、下肢静脈瘤血管内焼灼術はすべての症例に適用可能なわけではなく、病変の性質や位置、患者さんの状態などを考慮して適切な治療方法を選択する必要があります。必ず専門医と相談して、最適な治療方法を決定するようにしましょう。



副院長 石原 健次 (いしはら けんじ) 医師

所属学会

日本外科学会・日本心臓血管外科学会
日本血管外科学会
日本静脈学会・日本胸部外科学科
日本臨床外科学会・日本脈管学会

資格取得

医学博士、下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医、
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
日本脈管学会認定脈管専門医、
日本静脈学会評議員、
日本外科学会専門医



AI内視鏡導入について

AI内視鏡とは

人工知能(AI)技術を活用して内視鏡検査の診断精度向上を支援するシステムです。大腸がん、胃がん、食道がんなど消化器系のがんの早期発見に貢献する技術として注目を集めています。AIがリアルタイムで画像や映像を解析し、病変が疑われる箇所を検出して医師に知らせてくれます。

AI内視鏡システム「gastro AI」を導入！



3月末より内視鏡室1室に導入したAI内視鏡システム「gastro AI」を、健診受診対象者様に対して活用しています。
※全ての健診受診者に対して実施することはできませんので、予めご了承ください。



AI内視鏡の特徴

■ 病変の見逃しリスクの低減

人間の目では見逃しやすい微小な病変や、盛り上がりが少ない平坦な形状のがんなど、発見が困難な病変をAIが指摘することで、見逃しを防ぐ効果が期待できます。

■ いつでも質の高い検査が期待できる

学習したAIが、医師の経験や体調に左右されずに診断を客観的に支援。いつでも高い水準の検査を提供しやすくなり、診断の質の安定化につながります。

■ スムーズな検査で、心と身体の負担軽減が期待できます

AIが病変の疑いを瞬時に知らせ、診断を効率化します。検査時間の短縮やお腹の張りといった身体的負担の軽減につながり、より快適に検査を受けていただけます。

- AIの目により、微小な病変を見逃すことが少なくなり早期がんの発見率向上に寄与します。
- 早期にがんを発見した場合、内視鏡治療などの低侵襲な治療で根治できる可能性が高まります。
- 患者さんの身体的負担が軽減され、治療後の生活の質が向上することにもつながります。

早期に発見し、適切な治療を行いましょ！

小郡・大刀洗

胃内視鏡検診について



実施期間 令和7年7月1日～令和8年3月31日

対象者

- ・小郡市・大刀洗町に在住の方
 - ・令和8年3月31日時点で、50歳以上の偶数年齢の方
- 6月頃に受診券(はがき)がご自宅に届きます。受診する際はお持ちください。

■ 自己負担額: **2,500円** (税込)

※当院の内視鏡検査は鎮静剤(無償)を利用して検査を受けることができます

当院独自オプション

胃がん検診(胃部内視鏡検査)に加え、同日に大腸内視鏡検査を受けることも可能です。

料金: **8,500円** (税込) ※胃がん検診の自己負担額含む

当院で受診
するためには?

健診センター **AQUA** アクア
TEL0942-72-2375(直通)
(月～土曜日 9時～17時にご連絡ください)

24時間の受付の
ネット予約も
ご利用いただけます



胃内視鏡検査医療機関一覧 (令和7年3月時点)

※事前予約が必要です。直接医療機関へ予約してください

医療機関	住所	電話番号(0942)
井手胃腸科内科医院	上西釜坂10-1	73-1112
協和病院	祇園2丁目1-10	72-2121
倉岡医院	三沢3949-7	75-5111
嶋田病院健診センターアクア	小郡217-1	72-2375
新古賀リハビリテーション病院みらい	山隈273-11	73-0011
聖和記念病院	津古1470-1	75-1230
田中クリニック	美鈴が丘5丁目12-3	75-5377
富安医院	松崎764	73-1271
ながたクリニック	美鈴の杜1丁目1-11	23-0800
ひやまクリニック呼吸器内科	大崎1020-2	23-8550
古川医院	小郡330-18	72-2415
平和クリニック	大刀洗町大字高樋2499-21	77-1307
大城診療所	北野町乙吉2	78-2117
蒲池医院	北野町今山129-2	78-3065
神代病院	北野町中川900-1	78-3177
田中まさはるクリニック	北野町今山516-1	41-3535

健康ポイント事業のご案内

今年度より小郡市は
「健康ポイント事業」を
開始しています。

がん検診を受けると
500ポイントが貯まります。
詳しくは小郡市健康課健康推進係まで

〒838-0126 小郡市二森1167-1
小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」
電話:0942-73-9146



装具相談窓口のご案内



当院で作製した下肢装具のフォローアップや
その他装具に関するご相談を承っております。

以下のような内容で相談がある方は
ご遠慮なく相談下さい。

- ・装具の破損や劣化に伴う、修理や作り替え相談
- ・装具の使用方法・お手入れ方法に関する相談
- ・補装具(車椅子、歩行器等)の購入相談
- ・その他、装具に関する相談

実際の相談例



劣化に伴うベルクロの破損



滑り止めの剥がれ

装具に関する
お悩みがありましたら、
お気軽にご相談ください！

お問い合わせ先 装具担当：^{ほんだい}萬代・野崎
TEL：0942-23-9364（リハ室直通）もしくは内線：611
Eメール：riha@shimadahp.jp

Hondaの交通安全情報紙「SJ」に掲載されました

クローズアップ福祉安全運転
地域の病院が主体となって
安全な移動のための支援の輪を拡げる



作業療法士 末次 亮平



第2回八女市自動車運転・移送支援プロジェクト合同研修（交通安全情報紙「SJ」より掲載）



Honda
交通安全情報紙「SJ」

Hondaの交通安全情報紙「SJ(The Safety Japan since 1971)2025年 春号(3月21日
発刊)」に作業療法士 末次亮平が掲載されました。日本運転リハプロジェクトで地域性や病院施設
の規模に関わらず実施できる運転評価を普及拡大させるために活動をしています。掲載記事
は右記二次元コードからご覧いただけます。



九州大学医学部 臨床教授に就任



内科部長 赤司 朋之

4月1日、当院の内科部長である
赤司朋之先生が、九州大学医学部
臨床教授に就任されました。大学
病院や関連病院で臨床実務に携わり
ながら、学生の指導や研究活動を行
う予定です。

知っておきたい 緩和ケア

Vol.8

今回のテーマ

「若い世代の緩和ケアについて」

吉永 敬士 (よしなが けいじ) 医師 | 担当科 緩和ケア / 外科



若い世代のことを **AYA世代** (思春期Adolescents & 若年成人Young Adults) ということもあります。この世代の特徴としては、身体的、精神的、社会的に子供から大人になっていく世代で、就学、就労など社会環境、家庭環境、経済的環境が大きく変化することが挙げられます。また、大人に比較して希少がんに罹患する確率が高く、希少がんでなくても同世代の患者さんは少なく、医療者も経験が少ないことが問題となっています。国ではAYA世代の診療実績が多いがん診療拠点病院を中心に「AYA診療拠点」を整備し、院内外の専門家により構成された「AYA支援チーム」を組織し入院環境を整えています。2018年から九州では九州がんセンターが「全国AYAがん支援チームネットワーク」のモデル施設となっています (<https://kyushu-cc.hosp.go.jp/information/detail/762.htm>)。ホームページの情報をご参照いただければと思います。当院でもAYA世代のがん患者様の経験はありますが、患者様のご要望に応じて、九州がんセンターと連携して診療を行うことも可能です。在宅療養をお考えの場合、自治体によって介護保険と同等のサービスを受けることも可能になっていますので、ご確認ください。

関連動画はこちらです

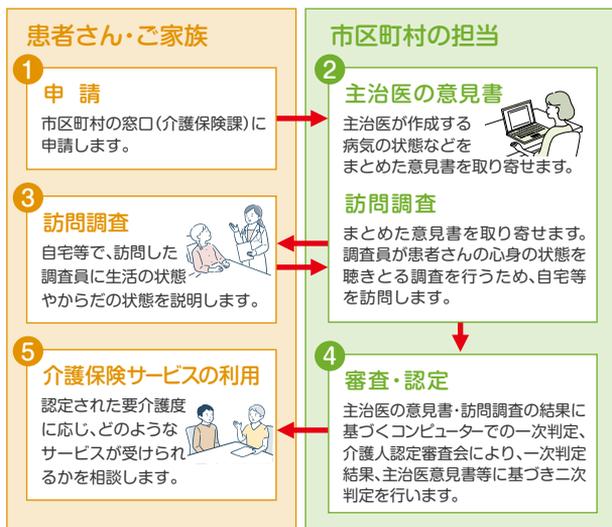


日本緩和医療学会
公式YouTube
チャンネルより

介護保険について

がんを学ぶ
ひとりのがんにもんごの力を。

<https://ganclass.jp/support/protection/05.php>



がんの終末期との診断となった場合

福岡県 では
40歳以上の方がサービスを受けることができます。

R5.4月から開始

**小郡市 久留米市
大刀洗市 朝倉市
筑紫野市 筑前町** では
40歳未満の方も補助を受けることができます。

〈関連サイト〉

全国AYAがん支援チームネットワーク

<https://ayateam.jp/>
全国に14施設のAYA支援チームモデル施設があり、九州には九州がんセンターがあります。

一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会

<https://aya-ken.jp/>

がんと生きている。若いがん患者さんの未来のために—AYA LIFE

<https://aya-life.jp/>

AYA世代のがんとくらしサポート

<https://plaza.umin.ac.jp/~aya-support/>

がん情報サービス
AYA世代の方へ

～15歳から30歳代でがんと診断された人へ～

https://ganjoho.jp/public/life_stage/aya/index.html

リハビリ庭園通信

～ お花で毎日に癒しを ～

庭園を彩ってくれた花々

花盛りも終わる頃、回復期病棟レクリエーションにて庭園に咲き誇ったパンジーやピオラの花を摘み取り花瓶に活ける作業を。殺風景なリハビリ室が華やきました！

協力者随時募集中

気になる方は、OT杉尾・末次まで
お声かけください



OSHIMADA_REHABILITATION



チューリップ



ネモフィラ



摘み取って、下葉を落とす作業は指先の運動にもつながります。患者さんの中には、摘んだ花を奥様にプレゼントしたいという方も♡ブーケにアレンジしてプレゼントしていただきました♡

熱中症対策について



水分補給はこまめに。喉が渴く前に!

水やお茶をこまめに飲みましょう。一度にたくさん飲むのではなく、コップ1杯を1～2時間おきに意識して飲むのがコツです。運動や入浴前後も水分を摂りましょう。



涼しい場所を選んで過ごしてください

日中の暑い時間帯の外出はできるだけ避け、エアコンの効いた涼しい室内や風通しの良い日陰で過ごしましょう。また、濡らしたタオルを首に巻いたり、冷却シートをつかったりするのも効果的です。



ちょっとダルい・頭が痛いなどの症状がある場合は、涼しい場所で休んでください。めまい・立ちくらみ・吐き気・体がだるくて動けない。などの症状がある場合は、すぐに病院へ受診してください。

学術活動[学会発表]令和7年3月～7月

日付	2025年3月10日
所属	診療支援部
発表者	今村 知美
学会	医療DXへのとりかかり～活用事例から考える～

日付	2025年7月4日・5日
所属	看護部
発表者	長谷部 真琴
学会	第30回 緩和医療学術大会

診療実績	2025年3月	2025年4月	2025年5月
新入院患者数	266人	271人	285人
救急車搬入数	249人	223人	221人
初診紹介数	417人	441人	429人
紹介率	61.1%	72.6%	62.6%
平均在院日数	10.6日	9.7日	9.6日

[編集後記]

梅雨が明けて暑い日が続いています。連日、ニュース等で熱中症に対する対処方法が報道されております。無理せず涼しく水分補給をしっかりとされて過ごされてください。

さて、本号の特集はAI内視鏡という聞き慣れない検査が特集されました。AI内視鏡は最新の検査技術で様々な症例の画像をコンピュータ(AI)に読み込ませて、検査中に過去の類似画像と似た症例があった場合に瞬時に検査担当医に知らせてくれるものです。もちろん、AIが全て正しいことはありませんので最終的には医師の判断となる訳ですが、それでも気づきにくい症例をピックアップしてくれるのは医師の検査補助に大いに役立ってくれます。新しい技術をうまく使いながら、今ある検査・処置の質をこれからも高め、この地域から消化器がんで無くなる人をゼロにする。という目標に少しでも近づけていきたいと思います。

[編集/広報委員 本間 翼]

法人理念

医療、介護、全人的ケアを通じて地域とつながり、私たちがかわるすべての人たちが安心と満足と幸せを感じる組織であり続けます。



ビジョン

1. 私たちは、救急・急性期医療と専門医療、予防医学、介護とケア、地域との連携により、良質なサービスを切れ目なく提供します。
2. 私たちは、地域の方々が安心して自分らしく暮らしていけるよう、治し癒し支える社会を創ります。
3. 私たちは、かかわる人たちがすべてが満足と幸せを感じ、私たち自身も夢を持ち輝ける組織になります。